

平成24年人文学部人間情報学科
 教員研究業績一覧（2012. 1. 1—12. 31）

Academic Achievements in 2012 :
 Department of Human Sciences, Faculty of Arts

凡例：

氏名 ①著書 ②論文・研究ノート ③翻訳 ④書評・随筆等 ⑤学会・研究会等での報告 ⑥上記以外の業績

早坂俊廣

- ② 1) 「全祖望与钞书的精神史」（申緒璐訳、『儒学天地』2012年第1期, pp.39-43）[単著]
 2) 「場所の記憶／全祖望の記録」（『中国—社会と文化』第27号, pp.196-211）[単著]
 ③ 1) 「王畿『龍溪王先生会語』訳注 其の十」（『白山中国学』第18号, pp.1-21）[共著]
 2) 「王畿『龍溪王先生会語』訳注 其の十一」（『東洋古典学研究』第33集, pp.101-129）[共著]
 3) 「王畿『龍溪王先生会語』訳注 其の十二」（『東洋古典学研究』第34集, pp.77-111）[共著]
 ⑤ 「慈湖の楊簡論」（宋代史研究会2012年度夏合宿, 8月25日, 民宿岩本貸船）[単独]
 ⑥ 1) 講演「当代日本中国学研究の方法と動向」（3月13日, 中国計量学院人文社科学院）[単独]
 2) 講演「当代日本中国学研究の方法と動向」（3月15日, 杭州師範大学国学院）[単独]
 3) 講演「儒教・孔子・『論語』」（第15期日中関係を考える連続市民講座「中国の歴史・文化と日本」第6回, 4月21日, 長野県日中友好センター）[単独]
 4) 第3回信州大学哲学懇話会コメンテーター（6月2日, 信州大学人文ホール）
 5) 講演「とまどう中国の私～地上の楽園・杭州での一年間～」(平成24年度信州大学人文学部後援会総会, 7月14日, 信州大学人文学部)

三谷尚澄

- ② 「倫理的直観はいかなる意味で実在をとらえているのか？——セラーズ的視点から」（『倫理学研究』, 第42号, pp.25-35）[単著]
 ④ 1) シンポジウム発言要録：「ディスカッション要録」（関西倫理学会2011年度大会シンポジウム「直観と倫理」, 北尾宏之・水谷雅彦責任編集, 『倫理学研究』, 第42号, pp.36-47）[共著]
 2) 書評：「Patricia Kitcher, *Kant's Thinker*, Oxford University Press, 2011」（日本カント協会（編）, 『カントと形而上学（日本カント研究13）』, 理想社, pp.241-243）[単著]
 ⑤ 1) 「先端医療研究はどのような意味で倫理的問題を提起するのか」（信州大学医学部ヒトES細胞に関する研修会講師, 1月19日）[単独]
 2) 「倫理的直観はいかなる意味で実在を捉えているのか：セラーズ的視点から」（「現代的な知覚研究のための哲学的基礎づけとその体系化」科研研究会, 柏端達也代表, 1月28日, 信州大学）[単独]
 3) 関西倫理学会2012年度大会ワークショップ「大学での授業運営を考える」パネリスト（11月2日, 信州大学人文学部）[共同]
 4) 「人類学と形而上学のあいだで——社会プラグマティズムとセラーズ派哲学者たちのカント」（日本カント協会2012年

度大会共同討議, 「ポスト分析哲学とカント」 提題発表, 11月10日, 関西学院大学) [単独]
 ⑥ 1) 応用哲学会, 京都大学応用哲学・倫理学教育研究センター, 信州大学人文学部哲学・思想論分野共催, *Summer Seminar on Modal Metaphysics: Possible Worlds and Beyond* (8月6日～10日, 信州大学人文学部) 実行委員長 2) 関西倫理学会2012年度大会 (11月2日～4日, 信州大学人文学部) 大会実行委員長 3) 科学研究費補助金(若手研究B)「若きセラーズの思想形成過程の解明」に基づく研究を研究代表者として実施

護山真也

① 『シリーズ大乘仏教9 認識論と論理学』, 高崎直道監修, 春秋社 [共著] [第7章「全知者証明・輪廻の証明」(pp.227-257)を分担執筆] ② 1) 「形象虚偽論と多様不二論(下)」, 『人文科学論集<人間情報学科編>』第46号, pp.1-17 [単著] 2) 「ラトナキールティ著『多様不二照明論』和訳研究(下)」, 『南アジア古典学』第7号, pp.135-167 [単著] ④ 書評: 和辻哲郎『初版 古都巡礼』, 浄土真宗本願寺教伝道研究センター: 仏教書レビュー: URL:http://crs.hongwanji.or.jp/kyogaku/review/shohyo/sh08_034.htm [単著] ⑤ 1) "Ratnākaraśānti's criticism of pseudo-Mādhyamikas," (The 5th Beijing International Seminar on Tibetan Studies, 8月, 中国蔵学研究中心, 北京) [単独] 2) "Another Look at the Īśvarasādhana-Fragment of Aviddhakarṇa" (Japan-Austria International Symposium on Transmission and Tradition: The Meaning and the Role of "Fragments" in Indian Philosophy, 8月21日, 信州大学) [単独] 3) "A comparison between the Indian and Chinese interpretations of the antinomic reason (viruddhāvyaḥicārin)" (Workshop on "Buddhist Logic and Epistemology in Chinese Sources", 10月12日, 国際政治大学, 台北) [単独] ⑥ 「仏教の再発見」(平成24年度教員免許更新講習, 7月1日, 信州大学)

今井章

② 「事象関連電位によるデルブーフ錯視の検討(3)—内円が縮小する事態における検討—」信州大学人文学部人文科学論集<人間情報学科編>, 45, 19-31頁 [単著] ③ 翻訳 J. L. アンドレアッシ 心理生理学—こころと脳の心理科学ハンドブック— 北大路書房 [単著]
 ⑤ 1) 「デルブーフ錯視による事象関連電位(4)—外円が分割・短縮される事態における検討—」日本心理学会第76回大会発表論文集, 575-575頁 (9月11日, 専修大学) [単独] 2) 「視覚追跡が無意図的の同期に及ぼす影響」日本心理学会第76回大会発表論文集, 562-562頁 (9月11日, 専修大学) [共同] 3) 「表情と音声の情動一致性がERPに与える効果」日本基礎心理学会第31回大会発表抄録集, 53-53頁 (11月3日, 九州大学) [共同] ⑥ 独立行政法人自動車事故対策機構長野支部平成24年度運行管理者等基礎講習講師「運転者の心理『自動車運転者の適性管理について—安全運転のために—』」(7月12日, 長野県松本文化会館) [単独]

岡本卓也

② 「コミュニティ意識尺度短縮版」(『コミュニティ心理学研究』印刷中) [共著] ⑤ 1) 「京都市中京区における近隣生活圏とコミュニティ意識(3)」(日本コミュニティ心理学会第15

回大会発表論文集, 82-83, 北翔大学 2012年7月) [共同], 2) 「京都市中京区における近隣生活圏とコミュニティ意識(4)」(日本グループ・ダイナミクス学会第59回大会発表論文集, 202-203, 京都大学 2012年9月) [共同], 3) 「景観評価とコミュニティ意識のマルチレベル分析」(日本社会心理学会第53回大会発表論文集, 402, 筑波国際会議場 2012年11月) [共同] ⑥1) 「旅へのモチベーション-場所のアフォーダンス 一人は何に惹かれ、彼の地を目指すのか-」(信州大学人文学部公開講座 第63回夕べのセミナー, 2012年7月) [単独], 2) 日本行動計量学会 肥田野直・水野欽司賞(奨励賞)受賞

清水健司

⑤1) 「自己愛研究の最前線(5)-これからの「自己愛」の話-」(日本心理学会第76回大会ワークショップ, 専修大学 9月) [共同] 2) 「強迫傾向における増減要因の検討」(日本心理学会第76回大会発表論文集, 1EVB01, 専修大学 9月) [共同] 3) 「完全主義の類型と自己嫌悪感の関連」(日本心理学会第76回大会発表論文集, 1PMD19, 専修大学 9月) [共同] 4) 「釈明者への気遣いが言い訳の効果に及ぼす影響」(日本心理学会第76回大会発表論文集, 1AMB34, 専修大学 9月) [共同] 5) 「釈明の繰り返しによる釈明者が獲得した否定的印象の低減」(日本グループダイナミクス学会第59回大会発表論文集, 198-199, 京都大学 9月) [共同] 6) 「釈明者が誠実さを感じる応答様式の検討」(日本社会心理学会第53回大会発表論文集, 163, つくば国際会議場 9月) [共同] ⑥ 「感覚統合療育キャンプSV」(NPO 法人広島発達支援の会リバシー主催 広島市似島臨海少年自然の家 8月11-13日) [共同]

高瀬弘樹

② 「脳磁図による瞑想時の脳活動に関する予備的研究」(人文科学論集〈人間情報学科編〉, 46, 33-38.) [共著] ⑤1) 「視覚追跡が無意図的同期に及ぼす影響」(日本心理学会第76回大会, 9月11日, 専修大学) [共同], 2) 「表情と音声の情動一致性がERPに与える効果」(日本基礎心理学会第31回大会, 11月3日, 九州大学) [共同]

長谷川孝治

②1) 攻撃的ユーモア志向性とセルフ・モニタリング傾向が機能不全的ユーモア表出に及ぼす影響 人文科学論集〈人間情報学科編〉, 46, 39-52, 43. [単著] ⑤1) Influences of self-esteem and reassurance seeking on the reaction to Porcupine Dilemma: Why are only low self-esteemers rejected? (The 13th Annual Meeting the Society for Personality and Social Psychology, Jan. 28, San Diego, CA, USA), 2) 安心さがしと社会的動機づけがソーシャル・サポートの授受に及ぼす影響 (日本心理学会第76回大会, 9月11日, 専修大学) [単独], 3) 安心さがしと社会的動機づけがソーシャル・サポートの授受に及ぼす影響(2) (日本グループ・ダイナミクス学会第59回大会, 9月23日, 京都大学; 発表論文集, 94-95) [単独], 4) ソーシャル・キャピタルと集団アイデンティティが心理的健康に及ぼす影響 (日本社会心理学会第53回大会, 11月18日, つくば国際会議場; 発表論文集, 80) [共同: 長谷川孝治・辻竜平], 5) オープンコミュニケーションにおける会話スタイルの違いが聴衆に及ぼす影

響（日本心理学会第76回大会，9月11日，専修大学）[共同：舟戸貴織・長谷川孝治・内藤哲雄・唐沢穰] ⑥1）日本社会心理学会「社会心理学研究」編集委員 2011年4月～2015年3月

澤木幹栄

④「日本語学執筆者100人の歩み 沢木幹栄」（『月刊日本語学』31巻14号，明治書院，95頁）[単著] ⑤1）Making the most of a dialect corpus: Development of the Tokunoshima Dialect Dictionary of Two Thousand Sentences (7th Congress of the International Society for Dialectology and Geolinguistics, 2012年7月27日，ウィーン) [Yumi Nakajima, Chitsuko Fukushima と共同発表] 2）Standardization and Dialect Leveling in Tokunoshima (NWA V ASIA-PACIFIC 2, 2012年8月4日，立川) [Chitsuko Fukushima, Yumi Nakajima と共同発表] 3）「方言分布の計量」（日本行動計量学会第40回大会，2012年9月16日，新潟県立大学）[単独] 4）「孤例は特別か」（国立国語研究所「大規模方言データの多角的分析」研究会公開ワークショップ，2012年12月16日，全国町村会館）[単独]

村山研一

①1）『上高地と梓川の水利』信州大学人文学部社会学研究室，90p. [単著]，2）『安曇野の地域イメージと景観形成』信州大学人文学部社会学研究室，140p. [単著] ②1）「平成の市町村合併と自治体の命名」『日本語学』35-1（2012年1月号），pp.14-25 [単著]，2）「農業用水利と発電用水利の競合と共生」『信州大学人文学部・人文科学論集／人間情報学科編』第46号，pp.53-68 [単著] ⑤1）「コミュニティと地域住民組織」（安曇野市職員研修会講演，2012. 3. 7，安曇野市豊科交流学習センター「きぼう」多目的ホール）[講師]，2）「安曇野という地域名称と地域イメージ」（報告）、「安曇野景観と安曇野の水を守る」（パネルディスカッション）（地域ブランド研究会研究大会，2012. 3. 10，安曇野市豊科交流学習センター「きぼう」多目的ホール）[報告者・パネリスト]，3）「戦時中から戦後にかけての上高地ダム建設計画」（2011年度山岳科学総合研究所研究報告会，2012. 3. 15，信州大学理学部）[報告者]，4）「地域住民組織の役割と協働の課題について」（信州大学人文学部委託調査研究報告会および協働のまちづくり講演会，2012. 10. 16，安曇野市豊科ふれあいホール）[講演者]，4）「地域資源と強い地域ブランド」（千曲ブランドセミナー，2011. 11. 27，戸倉創造館）[講師]，5）「行政と住民との協働における地域住民組織の役割」（安曇野市区長会総会講演，2012. 12. 15，ヴィレッジ安曇野会議室）[講師] ⑥1）『中山間地域の暮らしと意識—中山間地域と村づくり2—』信州大学人文学部社会学研究室，152p. [辻竜平との共編著]，2）「内と外 両方の視点で取り組みを（ジモトロジー・「やまなし力」を考える）」『山梨日日新聞』2012年11月21日号 [インタビュー記事]

菊池聡

①1）『なぜ疑似科学を信じるのか 思い込みが生み出すニセの科学』化学同人 [単著] 2）『検証 予言はどこまで当たるのか』文芸社 [共著] ④1）『科学は超能力に手が届いたのだろうか』図書新聞，1月21日号 [単著] 2）「小さな海に囲まれて」心理学ワールド，

56, p.46. [単著] ⑥1)「落ち込まずに前向きに生きるための心理学的な考え方」(青木村教育委員会生涯学習講座, 2月26日) 2)「わかりやすい伝え方」(信州大学産学官連携推進本部・エプソンブランド研究会, 3月26日) 3)「だまされる心の心理学」(駒ヶ根市消費者の会: 信州大学出前講座, 4月20日) 4)「臨床において患者の満足度を高める心理学的アプローチ」(全日本鍼灸学会認定指定研修講座・関東支部講習会, 5月13日) 5)「ポジティブに生きるための心理学」(長野県社会教育委員連絡協議会総会: 信州大学出前講座, 6月20日) 6)「だまされる心の心理学」(池田町公民館みのり塾: 信州大学出前講座, 7月3日) 7)「ポジティブに生きるための心理学」(千曲市社会福祉協議会職員互助会総会: 信州大学出前講座, 7月26日) 8)「だまされる心の心理学」(山形村活き生き塾: 信州大学出前講座, 8月23日) 9)「ASIOS 超常現象ナイト Vol.2」(9月7日) 10)「ポジティブに生きるための心理学」(諏訪市ボランティアフェスタ: 信州大学出前講座, 9月9日) 11)「だまされる心の心理学」(古里住民自治協議会: 信州大学出前講座10月13日)

辻竜平

①「クリーク」「スモールワールド」「ネットワーク分析」「ブロックモデル」「ボナシッチ中心性」「構造的空隙」「弱い紐帯の強さ」「隣接行列・所属行列」, 見田宗介・大澤真幸・吉見俊哉・鷲田清一(編), 『現代社会学事典』[共著] ②「大鹿村の集落のネットワーク構造」(『人文科学論集〈人間情報学科編〉』46: 69-80.) [共著] ⑤1)「信頼と寛容: 概念整理と規定因」(3月12日, 数理社会学会第53回大会, 鹿児島大学) [単独], 2) "Effects of General Trust and General Tolerance on Voting Behavior and Political Interests" (The Fifth Joint Japan-North America Mathematical Sociology Conference, August 16, Denver, CO, USA) [単独], 3)「新潟県中越地震前後のパネル調査分析: 社会ネットワークと集落のまとまりの変化」(9月16日, 日本行動計量学会第40回大会, 新潟県立大学) [単独], 4)「パーソナル・ネットワークの多様性とその規定因: ポジション・ジェネレータにかんする分析」(11月3日, 日本社会学会第85回大会, 札幌学院大学) [単独] ⑥1)『中山間地域の暮らしと意識: 中山間地域と村づくり 2』(信州大学人文学部社会学研究室) [共編著], 2) 社会調査協会編集委員, 2010年5月~, 3)「新潟県中越地震からの復旧・復興と地域の絆」(信州大学放送公開講座「信州知の森: 知って備える防災への提言」, 1月28日), 4)「新潟県中越地震からの復旧・復興に見る人間関係の問題と予防策」(波田公民館・波田町内公民館主催「防災講演会」, 10月2日), 5)「新潟県中越地震からの復旧・復興に見る人間関係の問題と防止策」(信更公民館・信更地域公民館委員会「災害に強い地域づくりを考える」講演会, 10月21日)

水原俊博

⑥シンポジウム「ポスト・グローバル消費社会の動態分析——脱物質主義化を中心として」共同, 第1回立教大学グローバル消費文化研究会公開学術フォーラム, 主催: グローバル消費文化研究会, 共催: 立教大学社会情報教育研究センター, 平成24年11月23日, 於: 池袋ステーションコンファレンス. 講演「消費文化の新潮流」単独, 安曇野市市民大学講座(信州大学・安曇野市連携)第5回, 於: 穂高会館. 講演「青木村の本当の魅力——場所性と真正

性を中心に」単独，青木村講演会（信州大学・青木村連携協定），平成24年12月16日，於：青木村講演会。

佐藤広英

① 1) 「第8章インターネット」(松井豊(監修)湯川進太郎・吉田富二雄(編)『スタンダード社会心理学』サイエンス社, pp.177-205) [共著] ② 1) 「Assessing acute stress with the Implicit Association Test」(Cognition & Emotion, 26, 129-135) [共著] 2) 「The effects of acute stress and perceptual load on distractor interference」(Quarterly Journal of Experimental Psychology, 65, 617-623) [共著] 3) 「CMCにおける他者の匿名性がコミュニケーション行動に及ぼす効果：情報の種類の観点から」(社会言語科学, 15, 17-28) [単著] ⑤ 1) 「潜在的な快情動による視覚情報処理範囲の拡大」(日本視覚学会2012年冬季大会, 工学院大学, 1月19日) [共同] 2) 「Does stress increase or decrease attentional resource? The effects of stress on attentional blink」(The XII meeting of the Vision Sciences Society, Naples, Florida, USA, May, 16) [共同] 3) 「SNS上における情報公開とプライバシー」(第29回WebLab研究会, 東京経済大学, 5月19日) [共同] 4) 「プライバシー意識尺度の再検討：他者との関係性を考慮して」(日本心理学会第76回大会, 専修大学, 9月11日) [共同] 5) 「Switching IATによるストレス状態の測定」(日本心理学会第76回大会, 専修大学, 9月13日) [共同] 6) 「Evaluating acute stress with the Implicit Association Test (invited talk)」(Workshop on Human Behavior and Performance in Space Flight (organized by JAXA), Toranomon SQUARE, September, 18) [共同] 7) 「インターネット版プライバシー次元尺度の妥当性の検討」(日本パーソナリティ心理学会第21回大会, 鳥根県民会館, 10月7日) [共同] 8) 「SNS上での個人情報公開を規定する要因：自己情報へのプライバシー意識の観点から」(日本パーソナリティ心理学会第21回大会, 鳥根県民会館, 10月7日) [共同] 9) 「SNS上におけるプロフィール情報公開に関する基礎的検討」(日本社会心理学会第53回大会, つくば国際会議場, 11月18日) [共同] 10) 「SNS上での個人情報公開と迷惑行為被害経験との関連」(日本社会心理学会第53回大会, つくば国際会議場, 11月18日) [共同] 11) 「幼児の自己制御機能と実行機能との関連」(日本教育心理学会第54回大会, 琉球大学, 11月24日) [共同] 12) 「潜在的な快感情の喚起による視覚情報処理範囲の拡大」(日本認知科学学会第29回大会, 仙台国際センター, 12月14日) ⑥ 1) 日本パーソナリティ心理学会第21回大会準備委員会 Web担当(10月6-7日) 2) 日本パーソナリティ心理学会経常的研究交流委員会委員(2011年10月~2014年10月) 同副委員長(2012年10月~2013年10月)

久保亨

① 1) 「地域〔I〕中国」[単著](社会経済史学会編『社会経済史学の課題と展望：社会経済史学会創立80周年記念』有斐閣, 2012年6月) 238-248頁, 2) 久保亨編著『中国経済史入門』東京大学出版会, 2012年9月, 324頁 ② 1) 「辛亥革命百年 中国と日本」[単著](歴史教育者協議会編『歴史教育・社会科教育年報 2011年版』, 2012年3月) 144-153頁, 2) 「中国近現代史とどう向きあうか 現代中国と歴史学」[単著]『日本歴史学協会年報』(第27号, 2012年3月) 44-52頁, 3) 「学術会議の歴史基礎案—世界史未履修問題への対応

をめぐって」〔単著〕『歴史評論』（第749号，2012年9月）19-33頁 ⑤1）'Sympathy and Antipathy: the Xinhai Revolution seen from the Meiji Japan'〔単独〕，Conference "Reform and Revolution: In commemoration of the Xinhai Revolution and 100 years of state building" Conference, 2012年1月8-13日，〔ウィーン〕ウィーン大学主催，2）'The Compound Development of the East Asian Cotton Industry in the Context of Global History, 1940s-1960s'〔単独〕，XVIth WORLD ECONOMIC HISTORY CONGRESS（第16回世界経済史大会），2012年7月9-13日，〔ステレンボッシュ（南アフリカ）〕国際経済史学会主催，3）「民国成立後之経済思想与経済発展」〔単独〕，“近代国家的型塑”中華民国建国百年国際シンポジウム，2012年9月13-14日，〔台北〕国史館主催，4）「中華民国史的範圍与位置」〔単独〕，“中華民国史研究的回顧与未来走向”サミットフォーラム，2012年11月3-4日，〔北京〕中国社会科学院近代史研究所主催

笹本正治

①1）『2011年 東亜細亜山岳文化研究会 創立記念 国際学術大会論文集』67～160頁，「日本の山岳文化研究総論」（大韓民国慶尚大学校慶南文化研究院，2月20日）〔共著〕，2）『東亜細亜山岳文化研究会』第二回論文集229～255頁，「富士山と世界遺産—信仰と芸術の山富士山—」（中華人民共和國泰山学院，5月）〔共著〕，②1）「甲斐の虎と越後の龍が相見えた川中島合戦の謎に迫る！」（『歴史人』第3巻第2号通巻17号，48～57頁，KKベストセラーズ，1月12日）〔単独〕，2）「伝承から防災を考える—足元の災害を見つめ直す—」（『《人文・社会科学を主体とした先端的琉球・沖縄学の次世代研究者および地域リーダーの育成・研究推進プロジェクト》成果報告書，5～37頁，HIOS〔琉球大学国際沖縄研究所〕，3月25日）〔単独〕，3）「石井鶴三関連資料の整理について」（『信州大学附属図書館研究』第1号1～13頁，信州大学附属図書館，3月31日）〔単独〕，4）「日本国山梨県に残る出兵の記憶」（『壬辰戦争 420周年 国際専門家学術会議 発表論文集』45～65頁，韓国慶尚大学校慶南文化研究院，2012年12月4日）〔単独〕，④1）「信大の笹本教授に聞く」（『長野市民新聞』，1月3日）〔単独〕，2）「震災の中から立ち上がる貴重なドキュメント 松尾眞著『震災日記』」（『図書新聞』3046号，1月21日）〔単独〕，3）「『武田勝頼—日本にかくれなき弓取り』」（『読売新聞』山梨県版，2月4日）〔単独〕，4）「信州と隣県—信・甲二州—」対談（『地域文化』101号，八十二文化財団，2～13頁，7月1日）〔武田安弘氏と共に〕，5）「名品を訪ねて『秋山紀行』写本」（『中日新聞』松本版，8月26日）〔単独〕，6）「制約の中から新たな文化を」（『羅』第74号，俳句「羅」の会，11月）〔単独〕，⑤1）「富士山と世界遺産—信仰と芸術の山—」（第2回東アジア山岳科学研究会 シンポジウム「東亜細亜山岳文化研究」，5月26日，中国泰山学院）〔単独〕，2）「日本国山梨県に残る出兵の記憶」（大韓民国慶尚大学校慶南文化研究院 壬辰戦争420周年国際専門家学術会議，12月4日，大韓民国泗川市昆陽面 LIG）〔単独〕，⑥1）「教育の現代—歴史を通じて思うこと—」（北杜市長坂農村環境改善センター，1月21日）〔単独〕，2）「災害から戦国時代を考える」（埼玉県立嵐山史跡の博物館・国立女性教育会館 研修棟，7月20日）〔単独〕，3）「小菅の文化的景観を国指定へ」（飯山市教育委員会・瑞穂小菅農業改善センター，7月31日）〔単独〕，4）「枚方の鋳物師と日本の文化—音の世界と職人—」（大阪府枚方市文化財調査会・ラポールひら

かた, 9月8日) [単独], 5) 「木曾谷の世界遺産に向けて」(NPO 法人木曾ユネスコ協会・木曾郡民会館, 10月13日) [単独], 6) 「信大の宝物『上越秋山紀行』を語る」(信州大学附属図書館・信州大学附属図書館, 10月16日) [単独], 7) NHK BS プレミアム「千曲川」出演 (BS NHK1, 10月22日) [単独], 8) BS TBS「ライバルたちの光芒 織田信長×武田勝頼」出演 (BS TBS, 10月25日) [井沢元彦氏と共に], 9) 「災害から戦国時代を考える」(信毎女性セミナー・飯田会場, 11月1日) 他 [単独], 10) 「災害伝承に学ぶ」(姫川水系砂防直轄50年 姫川水系砂防 土砂災害の教訓・継承シンポジウム・白馬村「ウイング21」, 11月9日) [単独], 11) 「牛伏川階段工をめぐって—ふるさとの文化財を知って災害に備える—」及びシンポジウムコーディネーター (長野県・松本市・信州大学など・松本市Mウイング, 11月12日) [単独], 12) 全国遺跡資料リポジトリ・シンポジウム「文化遺産の記録をすべての人へ!」コーディネーター (全国遺跡資料リポジトリ・プロジェクト・大阪大学附属図書館, 11月15日) [単独], 13) パネルディスカッション「災害発生, その時CATVのミッションは…」コーディネーター (信州大学・社団法人日本ケーブルテレビ連盟信越支部長野県協議界・フォーラム「大災害発生～CATVの情報発信と課題」・メルパルク長野, 11月29日) [単独]

柴野均

③ハロルド・アクトン『メディチ家の黄昏』白水社 (単独) ④「イタリア料理を作り上げた料理書」『食文化誌ヴェスタ』87号 財団法人味の素食の文化センター

山本英二

①1) 「解説-近世文学と近世史を架橋する原点を探る」(鈴木俊幸『新版 蔦屋重三郎』平凡社, pp.311-317) [単著], ②1) 「高校教科書で学ぶ日本史」(『中野下高井教育』41号, pp.181-192) [単著], 2) 「大町の江戸時代 被差別民のくらしと文化」(『仁科路』134号, pp.2-8) [単著] ③1) 新刊紹介「金子拓著『記憶の歴史学—史料に見る戦国—』(『史学雑誌』第121編第7号, pp.125-126) [単著], 2) 「由緒論」(木村茂光監修・歴史科学協議会編『戦後歴史学用語辞典』東京堂出版, pp.264, pp.431-432) [単著], ⑥1) 講座「徳川将軍で学ぶ江戸時代—家綱・綱吉・家宣・家継—」(名古屋市・栄中日文化センター, 1月20日, 2月17日, 3月16日) [単独], 2) 長野市企業人権同和教育推進協議会・平成23年度企業経営者研修会講演「教科書で学ぶ江戸の人と身分」(長野市・長野市ふれあい福祉センター, 2月29日) [単独], 3) 大町市教育委員会同和教育集会所事業講演「大町の江戸時代 被差別民のくらしと文化」(大町市・大町市常盤公民館, 3月20日) [単独], 4) 第32回志賀高原夏期大学講座「続・高校教科書で学ぶ日本史」(長野県下高井郡山ノ内町・山ノ内文化センター, 8月1日) [単独], 5) 第34回長野県内地留学生の会講演「高校教科書で学ぶ日本史」(長野市・ホテル信濃路, 8月5日) [単独], 6) 講座「徳川将軍で学ぶ江戸時代—吉宗・家重・家治・家斉—」(名古屋市・栄中日文化センター, 10月19日, 11月16日, 12月21日) [単独], 7) 愛知大学文学部春学期非常勤講師「古文書読解」, 8) 日本古文書学会編集委員, 9) 徳川林政史研究所特任研究員, 10) 関東近世史研究会評議員

大串潤児

① 1) 安田常雄編／大串潤児・高岡裕之・西野肇・原山浩介編集協力 [共編著] 『シリーズ戦後日本社会の歴史』第1巻「変わる社会, 変わる人びと」, 岩波書店, 2012年11月。 2) 同 [共編著] 『シリーズ戦後日本社会の歴史』第3巻「社会を問う人びと」, 岩波書店, 2012年12月。 ② 1) 大串潤児 [単著] 「「シンポジウムのまとめ」にかえて一渡満・経験・教育」長野県歴史教育者協議会編 『「満州へ行く」とは 第2回「満蒙開拓青少年義勇軍」シンポジウム記録集』同, 2012年2月, 59～69頁。 2) 大串潤児 [単著] 「二つの魂を生きる」『歴史地理教育』第785号, 2012年2月号, 68～69頁。 3) 大串潤児 [単著] 「『十五年戦争史』論と歴史教育の課題」『歴史教育長野 年報』第26号, 2012年4月, 2～11頁, 4) 大串潤児 [単著] 「歴史教育と戦後地域青年の精神史—短歌・俳句・川柳を読み解く試み(2)」『歴史教育長野 年報』第26号, 2012年4月, 100～106頁, 5) 大串潤児 [単著] 「映画「ひとりの母の記録」と山吹村」『飯田市歴史研究所年報』第10号, 2012年8月, 32～53頁。 ④ 1) 大串潤児 [単著] 「書評 原山浩介『消費者の戦後史 闇市から主婦の時代へ』(日本経済評論社2011年)」『女性史学』第22号, 2012年7月, 102～104頁。 2) 大串潤児 [単著] 「書評 高岡裕之『総力戦と福祉国家』(岩波書店2010年)」『日本史研究』第601号, 2012年9月号, 77～86頁。 ⑤ 1) 大串潤児 [単独・司会およびコーディネーター] 「第3回 満蒙開拓青少年義勇軍シンポジウム 家族にとっての義勇軍」長野県歴史教育者協議会ほか, 2012年10月6日(於・松本市勤労福祉センター) 2) 大串潤児 [単独] 「「戦後」地域社会運動についての一試論」2012年10月14日, 日本史研究会大会(於・立命館大学) 3) 大串潤児 [単独] 「安曇野地域における住民活動の歴史」2012年10月16日(於・安曇野市) ⑥ 1) 大串潤児 [単著] 「地域の底を流れる思想にふれる」満蒙開拓を語りつぐ会編 『下伊那のなかの満洲 別冊記録集』同会, 2012年7月, 124～127頁 2) 大串潤児 [単著] 「2012年 日本史研究会近現代史部会共同研究報告要旨「戦後」地域社会運動についての一試論」『日本史研究』第601号, 2012年9月号, 14～16頁 3) 大串潤児 [単著] 「2012年 歴史学研究会大会 全体報告批判」『歴史学研究』第900号, 2012年12月号, 35～36頁 4) 大串潤児 [単著] 「「社会的共同性」と人びとの「解放」—私にとっての安田浩さんの「問い」」安田浩追悼文集刊行委員会編 『運動と学問 追悼 安田浩』きかんし, 2012年12月, 312～318頁。

佐藤全敏

① 『学研まんが NEW 日本の歴史』三(監修, 学研教育出版, 144頁, 11月) [共著] ② 1) 「弾正台と日本律令国家」(『日本史研究』601, 17-45頁, 9月) [単著] 2) 「弾正台の弾と京中巡察をめぐって」(『日本歴史』772, 90-97頁, 9月) [単著] ⑤ 1) 「蔵人所の成立をめぐって」(平成24年度延喜式研究会大会, 11月23日, 国立歴史民俗博物館) [単独], 2) 「宇多天皇の文体—予備的考察2」(人間文化研究機構・国際日本文化研究センター共同研究, 12月22日, 国際日本文化研究センター) [単独] ⑥ 「歴史と美術の間—河内国観心寺如意輪観音像を例に一」(社団法人金鶏会公開講座「古典を読む」, 6月23日, 長野高校金鶏会館) [単独]

